

夏はスズメバチの活動が活発な時期です。私の山荘はカラマツの森のはずれにあって、建物も古く、スズメバチにとっては格好の好営巣地になっているようです。今までにも何度か駆除しましたが、今回また現れました。建物の裏庭側の壁に開いた、小さな穴の中に巣を造ろうとしていたのです。

スズメバチといえば、黄色と黒の縞模様で、いかにも警戒しなければいけない配色です。「踏切の遮断機棒」と同じですね。しかし、今回出現したスズメバチは「黒いスズメバチ」でした。その名も「クロスズメバチ」です。

一口にスズメバチといっても、その攻撃性や毒性には差があり、危険度にランクがあります。最も危険なのは「キイロスズメバチ」です。民家の軒下などに、大きな丸い巣をつくるあの凶悪なハチです。体は小さいのですが、攻撃性も毒性も強く、日本では最凶部類の野生生物です。「オオスズメバチ」も危険です。スズメバチ類では一番大型で、見た目も恐ろしく、攻撃性も毒性も強いです。たが、土の中や倒木の下などに巣を造るので、民家に直接被害があることは少ないです。ほかにも「モンズズメバチ」「コガタスズメバチ」などもやや危険種です。

「クロスズメバチ」はスズメバチ類では最も小型で体も黒いので、一瞬ハエかアブのように見えます。攻撃性も毒性もあまり強くない、比較的危険性の少ない種類です。しかし、民家の壁穴から入り込み、屋根裏に巨大な巣を造ることもあります。今回は巣を造り始めた直後だったので、入口を「スズメバチ用泡殺虫剤」で塞いで駆除しました。1匹屋内に入ってきたのでよく観察しようと思い、壁にとまったのをテープで捕獲したのが写真のハチです。

(2024年8月上旬／北軽井沢)

